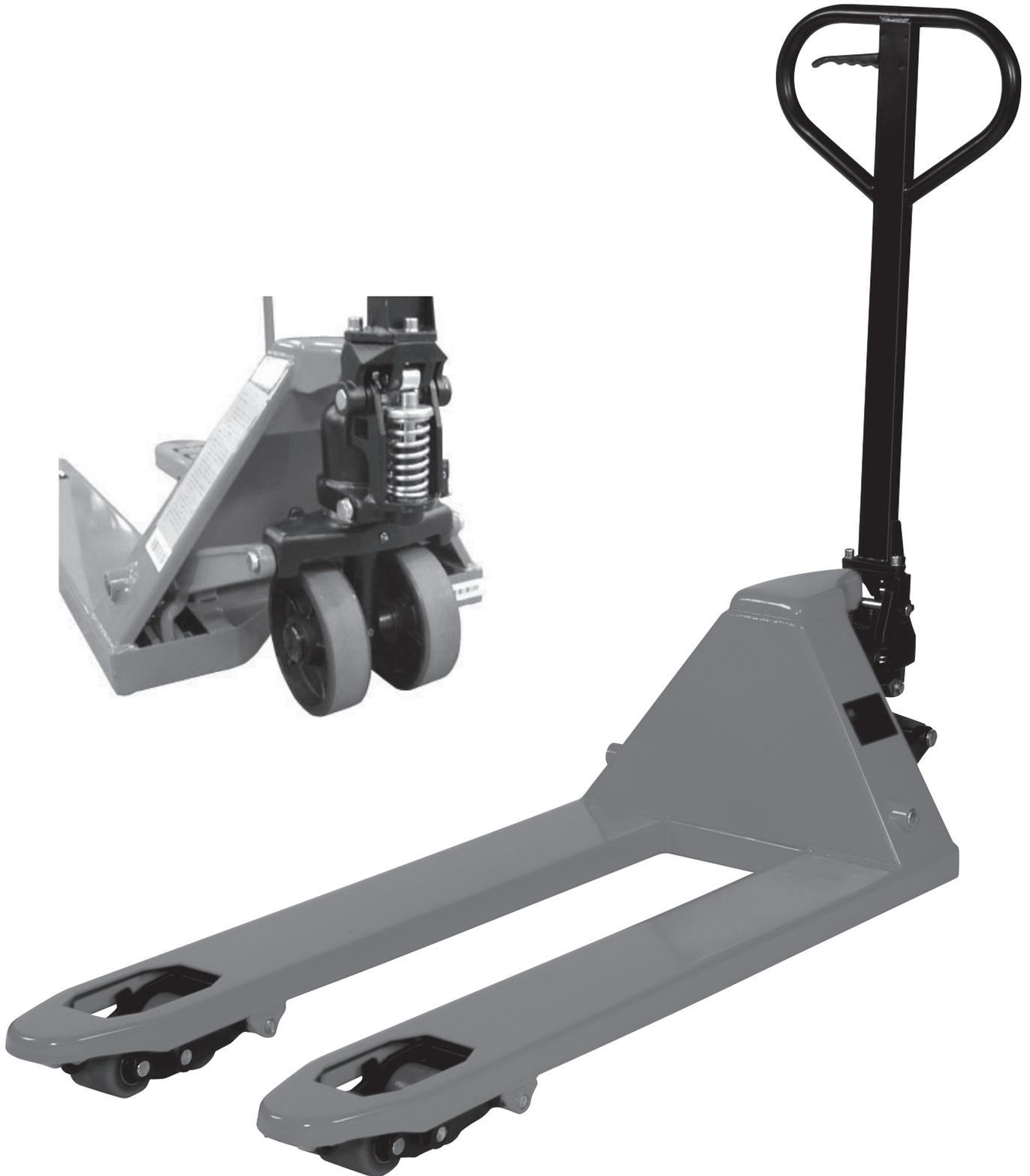


取扱説明書

モリヤマ **ハンドパレットトラック**

注文コード:06785502/08241816

このたびは、ハンドパレットトラックをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。



1 仕様

規格	許容荷重 (kg)	最下位 (mm)	最高位 (mm)	フォーク 外幅 (mm)	フォーク 長さ (mm)	ホイール (mm)		質量 (kg)
						ロード	ステアリング	
2000kg	2000	75	190	550	1150	φ74×70	φ180×50	67

2 安全にお使いいただくために

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをした場合は、人的障害や製品の破損、その他の物的損害へつなげる可能性があります。

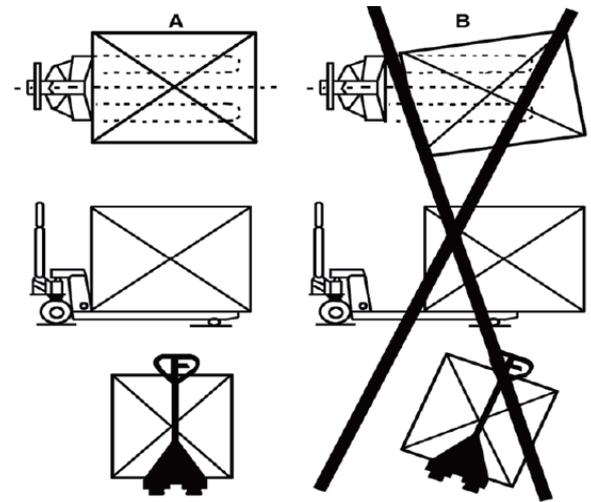
⚠ 警告

この表示を無視して誤った取扱いをした場合は、死亡や重傷などの重大な障害に結びつく可能性があります。

■ 使用上の注意

⚠ 注意

- ①本製品を安全に操作するために、ご使用前に本説明書または本体に記載している警告や指示をよくお読みください。
- ②本製品に関して使用許可のない方は本製品を操作しないでください。
- ③許容荷重を超えて使用しないでください。
- ④本製品を改造しないでください。
- ⑤本製品の許容荷重は、フォーク全長の中心箇所での荷重です。
- ⑥作業者は、作業時に手袋や安全靴を着用してください。
- ⑦ご使用前に、フォークの長さがパレットの長さにマッチしているかを確認してください。
- ⑧使用しない時は、フォークを最下位まで下げてください。
- ⑨荷物を均一に載せてください。右図のように片側のフォークや先端など偏った荷重をかけないでください。



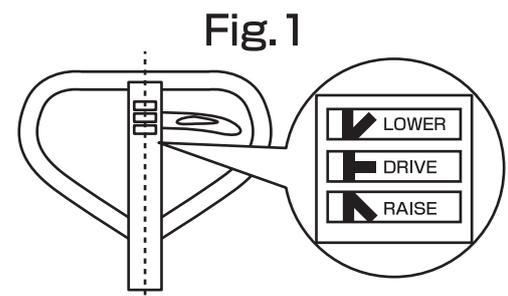
⚠ 警告

- ①傾斜面、滑りやすい場所や不安定な場所では、本製品を使用しないでください。
- ②体の一部を本製品のリフト、フォークや荷台の下に入れないでください。
- ③上にのらないでください。バランスを崩し転倒します。
- ④移動時は周囲に人がいないことを確認してください。

3 操作方法

右図のように3段階によってコントロールレバーを操作できます。

- LOWER—フォークを下す
- DRIVE—積載物を運ぶ
- RAISE—フォークを上げる



■ ハンドルの基準操作

- コントロールレバーをLOWER位置へ引き上げてください。フォークがゆっくりと下降します。荷物が床に着いてもフォークはさらに最下位まで下降できますが、途中でコントロールレバー操作を止めると下降は止まります。
- コントロールレバーを中央のDRIVE位置に設定すると、フォークの高さは保たれ、積載物を簡単に運べます。
- コントロールレバーを下側のASCENT位置に下げ、ハンドルを上下させるとフォークは上昇します。

■ハンドルの調整

- ①コントロールレバーをDRIVE位置にした状態で、ポンピングを行った時にリフトが上昇する場合は、時計回りに調整ネジを回して、リフトが上昇しないように調整してください。
- ②コントロールレバーをDRIVE位置にした状態で、ポンピングを行った時にリフトが下降する場合は、反時計回りに調整ネジを回して、リフトが下降しないように調整してください。
- ③コントロールレバーをLOWER位置にした状態で、リフトが下降しない場合は、時計回りに調整ネジを回して、コントロールレバーが上にかかるように調整します。またDRIVE位置について②、③に従って、調整ネジは正しい位置にあるかどうかを再確認してください。
- ④コントロールレバーをRAISE位置にした状態で、ポンピングを行ってもリフトが上昇しない場合、調整ネジを反時計回りに回して、ポンピングの際にリフトが上昇するように調整してください。またDRIVE位置とLOWER位置についても、上記①、②、③に従って再確認してください。

4 点検と修理

安全な作業を行うため、そして本製品の性能を維持するために、作業開始前の点検および定期点検を必ず行ってください。

点検内容……【油漏れはないか】【ボルト、ナットの緩みはないか】【車輪、回転部の異常な摩損はないか】

■給油

半年毎にオイルの点検を必ず行ってください。オイル量は約0.3リットルです。フォークを下げた状態で、タンク上部から5mmのところまで補充してください。気温により適切なオイルをご使用ください。なお、オイル補充および交換を行う場合は、別紙分解図の部品番号D149のスクリューを取り外して行ってください。

※ブレーキオイルを絶対に使わないでください。

温度	推奨オイル
-5°C~+40°C	ISO VG32

■余分エアの除去

シールを交換する時に、エアが油圧 ASSY(AH)に混入してしまうことがあります。

エアが入ってしまうと、コントロールレバーをRAISE位置にした状態でポンピングしても、フォークが上がりなくなります。コントロールレバーをLOWER位置に設定し、ハンドルを数回上下させるとエアが抜けます。

■日常点検と保管

本製品各部の消耗を最小限に抑え、長く使うために必ず毎日点検してください。特に車輪、アクセル、ハンドルとフォークの上下位置にはご注意ください。作業終了後、フォークを最下位に下ろし、荷物を載せないようにしてください。

■潤滑

月毎に稼働部分にモーターオイル、またはグリスを注油してください。

5 故障と対処

故障症状	故障原因	対処
フォークが最高位まで上がらない	オイル不足。	オイル補充。
フォークが上昇しない	●オイル不足。●オイルに雑物が混入。 ●リリースバルブの調整不良。●油圧ポンプにエアが混入。	●オイル補充。●オイル交換。 ●調整ネジを調整。(次ページ 参照) ●エア抜き。
フォークが下降しない	●過剰負荷または偏荷重(片荷重)が原因で、ロッドやシリンダーなどが変形もしくは、チェーンなどの破損。 ●フォークが長時間高いところに置かれ、錆びている。 ●調整ネジの位置が正しくない。	●ロッド、シリンダーまたはその他破損した部品を交換。 ●使用しない時に最下位まで下げて保管すると同時に、適時に潤滑する。 ●調整ネジを調整。(次ページ 参照)
オイル漏れ	●シールに摩損。 ●その他の部品が破損。	●シールの交換。 ●破損した部品を確認し、交換。
フォークが自然に下降する	●オイルに雑物が混入したため、リリースバルブをきちんと締められない。 ●オイルにエアが混入。 ●シールに摩損。 ●調整ネジの位置が正しくない。	●きれいなオイルに交換。 ●エア抜き。 ●シールの交換。 ●調整ネジを調整。



注意

本製品を勝手に修理したりしないでください。

6

リフトが上昇しない場合



※分解図のD133調整ネジ部の拡大写真です。

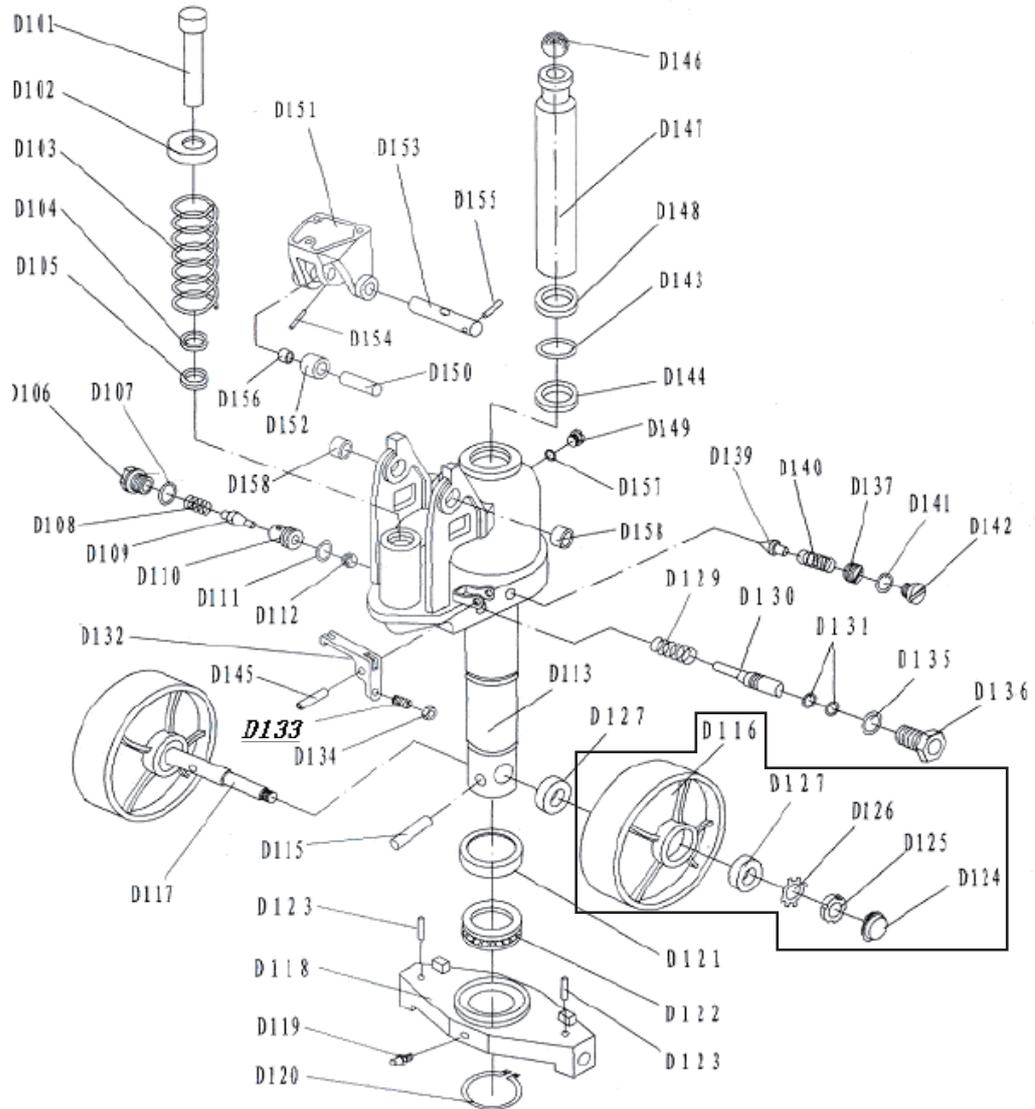
- ①外側のロックナット(D134)を緩めて(左回し)ください。
- ②真ん中の調整ネジ(D133)を反時計回り(左回り)で調整してください。
- ③調整し終わったら外側のロックナット(D134)を右に回して締め直してください。

リフトが下降しない場合



- ①外側のロックナット(D134)を緩めて(左回し)ください。
- ②真ん中の調整ネジ(D133)を時計回り(右回り)で調整してください。
- ③調整し終わったら外側のロックナット(D134)を右に回して締め直してください。

7 給油関連分解図



8 保証期間

●保証期間は、本製品のお買い上げ日より1年間とします。

ただし、保証期間内でも下記の場合は、無償提供の対象外となります。

- ①誤った使い方、無断改造による故障。 ②災害(地震・火災など)、公害による故障。 ③乱暴な運送による故障。

●交換用部品として下記部品のみ、別途ご購入いただけます。

- ①ロードホイール ②ステアリングホイール(D116+D124+D125+D126+D127) ③スプリング(D103)